



世古俊明先生に聞く



世古 俊明(せこ・としあき)

北海道千歳リハビリテーション大学教授
／理学療法士／博士(医学)

質問3 大学の学びの

一つの特色として「地域貢献」がありますが、現在展開されている活動内容や学生たちの関わり、また、市民の反応や学生たちの学びの成果についてお聞かせください。

千歳リハビリテーション大学では、開学当初から「地域とともに学ぶ」ことを大切に行っています。その中心となっているのが、2013年に始まった健康増進教室です。

これまでに1500回以上開催し、延べ6000人以上の地域住民が参加しています。教室では、体力測定や骨密度測定、フレイルチェックなどを行い、その結果をもとに一人ひとりに合わせた運動や生活習慣改善の提案を行います。

また、22年からは千歳市や北広島市と連携し、コロナ禍での活動自粛が高齢者の身体機能や認知機能に与えた影響を調べる測定会も実施しました。結果、身体機能よりも認知機能の低下が確認され、将来の要介護者増加が懸念されることが分かりました。この調査は、予防活動の必要性を再認識するきっかけにもなっています。

学生たちは、こうした地域活動に積極的に参加します。測定会では器具の準備や測定補助、運動指導を担当し、健康増進教室では地域の方と直接触れ合いながら運動をサポートします。

現場では、授業で学んだ知識や技術を使いながら、参加者の年齢や体力に合わせて声かけや説明を工夫する必要があります。学生にとって貴重な実践の場となっています。

市民の方からは「学生が一緒にだと安心する」「若い人と話すのが元気になる」といった声が多く寄せられています。学生にとっても「自分の学びが人の役に立っている」と実感できる経験は大きな成長につながる善を通して「その人らしい生活」を支えるやりがいがあります。

こうした地域との交流を通じて、学生は単なる専門知識だけではなく、人と人をつなぐ力や地域で活躍するための姿勢を身に付けていきます。

大学には、もともと「予防運動クラブ」というのがあって、地域住民の健康増進を目的に実施していましたが、大学のコンセプトとして予防リハ、障がい予防を掲げている中で、本格的な社会実践の場として本年度から2年生の「健康増進障害予防演習Ⅰ(検査測定)」として全員が参加することになりました。対象は千歳市に限ってですが、10月と11月に2回実施することになっています。

質問4 医療系大学への進学や、将来、医療系の仕事に就きたいと考えている高校生にメッセージをお願いします。

理学療法士は、けがや病気の回復を支えるだけでなく、病気の予防や介護が必要になる前から人々の健康を守ることでできる職業です。体の動きや機能を科学的に評価し、運動や生活改善を通して「その人らしい生活」を支えるやりがいがあります。

医療の仕事は、人の人生に寄り添い、笑顔や感謝の言葉を直接受け取れる特別な魅力があります。さらに理学療法士は、病院だけではなく地域やスポーツの現場など、活躍のフィールドが広がっています。千歳リハ大では、地域の健康増進教室やスポーツ分野での特別授業など、在学中から多様な現場を経験できます。

理学療法士は、けがや病気の回復を支えるだけでなく、病気の予防や介護が必要になる前から人々の健康を守ることでできる職業です。体の動きや機能を科学的に評価し、運動や生活改善を通して「その人らしい生活」を支えるやりがいがあります。

理学療法士は、けがや病気の回復を支えるだけでなく、病気の予防や介護が必要になる前から人々の健康を守ることでできる職業です。体の動きや機能を科学的に評価し、運動や生活改善を通して「その人らしい生活」を支えるやりがいがあります。

理学療法士は、病院だけではなく地域やスポーツの現場など、活躍のフィールドが広がっています。千歳リハ大では、地域の健康増進教室やスポーツ分野での特別授業など、在学中から多様な現場を経験できます。

理学療法士は、病院だけではなく地域やスポーツの現場など、活躍のフィールドが広がっています。千歳リハ大では、地域の健康増進教室やスポーツ分野での特別授業など、在学中から多様な現場を経験できます。

理学療法士は、病院だけではなく地域やスポーツの現場など、活躍のフィールドが広がっています。千歳リハ大では、地域の健康増進教室やスポーツ分野での特別授業など、在学中から多様な現場を経験できます。

理学療法士は、病院だけではなく地域やスポーツの現場など、活躍のフィールドが広がっています。千歳リハ大では、地域の健康増進教室やスポーツ分野での特別授業など、在学中から多様な現場を経験できます。

質問5 今後の抱負について(自らの研究や講義、学生との関わり、地域での活動など)ありましたら、お聞かせください。

これから、地域や社会が求める理学療法士を育てることを第一に考えています。そのために、講義や実習に加えて、地域住民の方々と一緒に学び合える場

をさらに広げ、学生が主体的に活動できる環境を整えていきます。

これまでの知見や研究結果を、地域ごとの特性や課題に合わせて運動プログラムに落とし込み、現場で実践する。そうして、研究と地域をつなぐ橋渡し役となることが私の役割です。実際に得られた成果は、学会や論文を通じて発信し、地域全体の健康づくりに生かしています。

今後は高齢者だけではなく、若年やスポーツ愛好者への予防リハビリテーションにも力を入れます。第一に

理学療法士の価値と可能性を発信し続けることが私の目標です。

理学療法士の価値と可能性を発信し続けることが私の目標です。

理学療法士の価値と可能性を発信し続けることが私の目標です。



未来を拓く医療人をめざして

北海道千歳リハビリテーション大学

Hokkaido Chitose College of Rehabilitation

募集学科・定員

学部・学科	専攻	入学定員
健康科学部 リハビリテーション学科	理学療法学専攻	80名
	作業療法学専攻	30名

初年度学費

入学金	授業料	教育充実費
30万円	130万円	5万円
合計 165万円		

取得学位

学士(理学療法学)

学士(作業療法学)

〒066-0055 千歳市里美2丁目10番

☎(0123)28-5331 <https://www.chitose-reha.ac.jp/>